

令和3年度 始業式 式辞

今朝は、新学級への緊張感があるせいか、街頭広報でハナミズキ通りにいると、たいへん元気な挨拶が返ってきました。二中の素晴らしい所である「挨拶のプロ＝お世話になっていない人へも挨拶できること」＝これは二中の誇れることで素晴らしい社会人になることを意味しています。今年も挨拶を頑張りましょう！

さて、昨年来の、新型コロナウイルス感染症は、現在、第四波と言われてます。変異株の現れは、どこにどう現れるかわかりません。これからの学校は、「感染予防対策をして、どのように開催するか」が、行事でも、生徒会でも、学級でも、部活動でも、問われていく1年になります。皆で考え、皆で協力して、昨年よりも今年、昨日より明日と、一步でも、二歩でも、前へ進んでいきましょう。

そんな中、人々を感動させるニュースが、一昨日入ってきました。競泳の池江璃花子選手が4日、日本選手権で優勝し、東京オリンピックのメドレーリレー代表に内定しました。池江選手は、2年前に、東京オリンピックの金メダル候補として期待されましたが、突然、白血病と診断され、その夢が絶たれました。ようやく競技復帰後に「次のパリ五輪を目指す」と言っていた中、今回、優勝を果たし、インタビューに「前のオリンピック選考会よりも、自信もなかったし、自分が勝てるのはずっと先のことだと思っていました。自分がすごくつらくて、しんどくても、…努力は必ず報われるんだな！」と、インタビューで、涙を見せながら、時おり声を詰まらせて答えていました。

今回の結果に、日本医科大学の猪口教授は、「治療をしながら、ここまで戻したのは、本人の人並み外れた強い意志と、体調管理があったからでしょう。考えられないほどの驚きです」と語っています。「努力すれば必ず報われる」という池江さんの言葉は、多くの人々の心を打ちました。努力し続けることによって、人間の能力は無限に広がること、自分の可能性を信じて、勇気をもって挑戦することが大切だということを教えてくれました。

皆さんも、どんなに苦しい時でも、池江選手のように夢と希望を持ちましょう！夢や希望は、皆さんに大きなエネルギーを与えてくれます。また、努力は必ず、何らかの形で報われます。新学年の、皆さんの健闘を心から応援しています。

校長 池谷 英人